

豊富な地域資源を活かし、「吸引力のある自立都市」へ



吉田市長

吉田信解本庄市長は、3月1日に開会した平成18年本庄市議会第1回定例会において、平成18年度の市政運営の基本的な考え方と主な施策を説明しました。本年1月10日に新「本庄市」が誕生し、「新市建設計画」を新市のまちづくりの基礎として推進し、本庄市を「行きたくなる、働きたくなる、住みたくなるまち」にしていきたいと述べました。(以下要旨)

市政運営の 基本的な考え方

本年1月10日、新生「本庄市」が誕生いたしました。私は初代市長として、その責任の重大さを痛感しており、日々心を新たに、身を挺して職務に望む覚悟です。

新市に必要とされるのは、「行政改革の積極的な推進」であり、「選択と集中」による効率的な行政経営です。様々な物的・人的資源が内在する本庄市は、「潜在的総合力ナンバーワンのまち」であり、行財政改革と合わせ、地域の潜在力を最大限に活かすことにより、「吸引力のある自立都市」へと甦らせることが、私の考える新市の将来展望です。合併協議の中でまとめられた「新

市建設計画」をまちづくりの基礎と位置づけ、私が掲げた4つの公約である「産業の活性化」「教育の充実」「安全・安心・快適のまちづくり」「市民本位の行政」を踏まえつつ、本庄市を「行きたくなる、働きたくなる、住みたくなるまち」にしていきます。私の行政推進の基本は「市民との対話」です。行政からの情報提供を図り、本庄市の置かれた状況を市民の皆様要充分に理解いただきつつ、積極的にまちづくりに参画していただくたいと考えています。

さて、経済情勢は穏やかな回復を続けるとの見通しもありますが、決して安定した状況ではなく、平成16年度より取り組まれている国と地方の税財政改革である「三位一体の改革」も、平成18年度が一つの節目となります。このような状況のもと、本市においても、簡素で効率的な行政システムの確立が必要です。平成18年度の予算編成は、こうした現状を踏まえ、財政の健全性の確保に留意し、個性と工夫に満ちた魅力ある新しい都市の形成、資源循環型社会の構築、安全で安心できる社会の確立、少子化対策等への取り組みとともに、地域経済の活性化を推進し、地域再生に視点を置き、合併協議において、それぞれの分野で協議いただいた内容をもとに編成いたしました。その規模は一般・特別企業会計あわせて、447億7、587万円となります。(P 参照)

以下、新市建設計画の基本目標の体系に沿って、主な施策を説明いたします。

子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるまちづくり

誰もが確かな生きがいを持ち、安心して生活できるよう、保健、医療、福祉の充実に努めます。

まず、子育て支援については、子どもを預けたい人、預かりたい人の調整を行う「ファミリーサポート運営事業」や子育て情報の交換・相談の場として「つどいの広場」の開催のほか、学童保育クラブへの助成など、放課後児童の健全育成も図っていきます。

健康づくり事業については、各種健康診査の受診率の向上および基本

主な施策の説明



健康調査の充実を図り、市民自らが健康を守り、生き生きと暮らすことができるよう支援していきます。

救急医療体制については、在宅当番医制、休日急患診療所、年末年始休日歯科診療業務、病院群輪番制病院による二次救急診療事業など、その充実に努めます。

高齢者福祉については、介護保険法の改正に伴い、地域包括支援センターの設置をはじめ、地域で安心して暮らせるよう見直しを行います。さらに、老人クラブ助成事業、高齢者敬老事業などを実施していきます。

障害者福祉については、本年4月に施行される障害者自立支援法の趣旨により、さらにきめ細かな対応を図っていくほか、「障害者計画」を策定し、障害のある人もない人もともに生きる地域づくりを進めていきます。



消費者保護対策については、悪質商法から消費者を守るため、「消費者生活相談員」を本庁舎と児玉総合支所に配置し、トラブルの防止、解決を図っていきます。

人にやさしい、環境と調和したふるさとづくり

恵まれた自然環境などの貴重な資源を保全し、環境と調和したまちづくりをすすめる、市民の暮らしを守る事業を展開していきます。



まず、水道事業については、配水管の布設・浄水場の施設改良・管路の近代化を計画的に実施し、安全で低廉な水を安定的に供給していきます。

公共下水道事業については、事業認可区域内の汚水・雨水枝線築造工事を継続して実施し、農業集落排水築造事業は、「滝瀬・堀田地区」の管路埋設工事及び処理施設の実施設を行います。

公園緑地整備については、安全で快適な公園緑地の整備と住環境の充実を図るため、朝日町土地区画整理事業地内の1号公園をはじめとする公園整備や、児玉町児玉の清水の池の整備に着手します。

環境負荷の軽減については、「環境と調和したまち」の建設に向けて、児玉総合支所へもISO14001

の認証取得を拡大していきます。

防災対策については、地域防災計画を策定するとともに、災害時の情報伝達手段として防災行政無線を全市に3か年計画で整備していくほか、消防団の消防ポンプ車の購入などを行います。また、「本庄市安全安心なまちづくり推進基本方針」に基づき、市民の皆様等と連携しながら、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を図ります。

地域を担い、明日を拓く^{ひら}人づくり

「21世紀を担うたくましく心豊かな人づくり」をテーマに、学校教育や生涯学習等の充実に努めます。

学校教育の充実については、英語指導助手の配置、社会体験チャレンジなどを通して国際化、情報化等に対応する教育を推進し、豊かな心と生きる力を身につけた児童生徒を育成します。

学校の施設整備では、本庄西小学校の校舎の耐震補強工事と外壁補修工事等のほか、老朽化した児玉中学校の建替えに向け、校舎・体育館・プールの基本設計及び実施設計を行います。

また、本庄上里学校給食センターの建替えについては、基本設計を行い事業に着手します。生涯学習の推進については、多様な・専門化する生涯学習の要望に応

えるため、生涯学習推進大会や各種市民講座、専門講座を開催していきます。

また、青少年の健全育成を図るため、「子どもボランティア体験スクー」などの開催や、家庭・学校・地域・行政が連携し、スポーツ、文化、体験活動を通じ、地域の教育力を活性化させ、夢と生きる力を持った子どもを育てる各種事業を実施していきます。

史跡・文化財の保全については、地域の生んだ歴史上の偉人、塙保己一先生の業績や市内に点在する文化財を地域の共有の財産として、保全や収蔵、展示等を実施していきます。

スポーツ活動の推進については、市内のスポーツ施設の有効利用の一層の促進、スポーツ・レクリエーション団体への支援や早稲田の杜クロスカントリリー大会、スポーツ教室などを実施していきます。



また、平成20年に開催予定の全国高等学校体育大会（インターハイ）女子バスケットボール大会の開催に向けて体制を整備していきます。